建て替えを行う場合
場所を決定する判断指標の例

①市民の利便性
②防災上の拠点性
③まちづくりへの影響
④事業費の抑制
⑤敷地の規模
⑥工事期間中の影響
⑦他の官公庁との連携

現地建て替えの場　合のイメージ図

□… 庁舎　□… 立体駐車場

	イメージ１（庁舎２棟）	イメージ２（庁舎３棟）	イメージ３（庁舎２棟）	イメージ４（庁舎１棟）	イメージ５（庁舎１棟）
アングル① 大淀川上空から市街地方向を望む					
アングル② 橘橋から本庁舎方向を望む					

市民懇話会の検討報告

本庁舎整備の大きな方向性は、
「長寿命化」ではなく、「建て替え」が望ましい。

【理由】
- 現在の庁舎は、老朽化やスペースの狭さなど、改善すべき箇所が多い。
- 長寿命化は整備期間が一番長く、庁舎機能も大きく向上しない。
- 長期的な総コストを考えると、長寿命化の方が建て替えよりも費用が高い。

市民懇話会から市長へ結果を報告

今後の取り組みについて

市民	議会	庁内
地域協議会などへ検討状況を説明	特別委員会などへ進捗状況を報告	庁舎問題検討委員会での議論を加速

「長寿命化」を図るのか、「建て替え」を行うのか
といった市の最終方針を2020年度までに公表します。

2017年に作成した「報告書」や今回の「市民懇話会」の資料はこちらから

問 庁舎管理課庁舎係　☎21-1724　FAX20-5025

出前講座も開催！お気軽にご連絡を
庁舎のあり方について、市職員が出向いてご説明します。
⇒市内に在住、在勤、在学（中学生以上）する10人以上の団体が対象（講座は無料、会場は各団体で準備）。

市民懇話会でまとめた今後の市庁舎のあり方

目標

誰もが使いやすく、市民の安心・安全を守り、市民のシンボルとなる庁舎

整備のポイント

庁舎を使い働く「人」
- **市民の使いやすさを重視した庁舎**
  ・ユニバーサルデザイン　・行政窓口のワンストップ化　など
- **職員の働きやすさに配慮した庁舎**

安心・安全に使える信頼できる「庁舎」
- **市民の安心・安全を守る防災機能が備わった庁舎**
  ・災害時の防災拠点　・避難所機能　など
- **市民が誇ることのできるまちのシンボルとしての庁舎**
- **環境へ配慮した庁舎**
- **市民や観光客が分かりやすい情報を受け取ることのできる庁舎**

健全な行財政運営に向けた「コスト」
- **より利便性の高い機能導入による収益性の高い庁舎**
  ・庁舎機能以外との複合化
  ・民間テナントの誘致
  ・市民利用や利用料金を見込むことができる機能の導入